



ロータリー:
変化をもたらす

FUKUSHIMA21RCNEWS

第 37 回例会 通算第 804 回 (4月26日)

【4月は母子の健康月間です。】



出席報告

【会 員 数】	50名
【出 席 者】	24名
(メーキャップ24名)	
【出 席 率】	100%
【出席免除者】	6名
【休 会 者】	1名

気象データ

【天 気】	晴れ
【最高気温】	21度
【最低気温】	12度



本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 4つのテスト唱和
4. 会長挨拶
5. ロータリーの友の読みどころ
6. 閉会点鐘

本日の食事



ヘルシーワンプレート
ご飯・味噌汁
フルーツ

会長挨拶



2017-2018 年度
福島 21 ロータリークラブ会長

望木 昌彦会長

皆さん、こんばんは。明日4月27日は、いよいよ若き独裁者、金正恩朝鮮労働党委員長と文在寅韓国大統領が板門店で「南北首脳会談」が開かれる日であります。そして、6月には「米朝首脳会談」という大勝負に挑む事になりましたが、核ミサイル開発を廃止してまで何故融和路線へ舵を切ろうとしているのか私には解りませんが、今これだけ社会のグローバル化が進み、もはや1国だけでは手に負えない多くの課題に他国との協力、地球的な規模での取り組みが重要な時代であり、平和な社会の確立がいかに大切であるか、会談の成功を祈りたいと思います。

私はかつて、北朝鮮に行き、軍事境界線の板門店に立ったことがあります。1950(昭和25)年6月、朝鮮民主主義人民共和軍が南進し、大動乱に発展したのが朝鮮戦争で、在日アメリカ軍を中心とする国連軍は大韓民国を援助するために出兵しました。やがて中華人民共和国も義勇軍を送り北朝鮮を支援し、一時世界戦争への危機をはらむほど激化しましたが、1953年7月、ようやく板門店で休戦調停が調印されました。その陰で、我が国の経済は大量の軍需物資の調達や輸送で「特需景気」で賑わい、深刻な不況から脱出しました。また、朝鮮戦争が起こるとマッカーサーは、1950年警察予備部隊の創設を指令しました。1952年には保安隊となり、1954年には自衛隊となるなど、この間我が国の政治・経済も大きく伸展し戦後復興を成し遂げた昭和・平成の時代でしたが、あと1年で終わる平成という時代を、私たちはどのように振り返り、次の時代に向けての新しい価値観を作りうるのか、ロータリアンの一員としてしっかり考えていきたいと思ひます。本日の例会はクラブ協議会です。松本パスト会長の進行で行いますので宜しくお願い致します。

福島駅西口清掃活動について



長谷川 玲子社会奉仕委員長

5月17日(木)に福島駅前西口清掃2回目が行われます。現在、準備は整っておりますが軍手や持ってこれる道具は各自持参ください。よろしくお祈りします。

今月のプログラム

4月 5日(木)	ガバナー補佐訪問⑤ サンパレス福島 18:30~19:30	19日(木)	特別事業④ サンパレス福島 17:15~19:00
12日(木)	観桜会 精華苑 18:30~20:30	26日(木)	クラブ協議会④ サンパレス福島 18:30~19:30

発行:福島21ロータリークラブ会報委員会
委員:藤野圭史 粕谷悦功 村井弘樹

・プログラムは変更になる場合があります。
・終了したプログラムは赤色で表記しています。



クラブ協議会④



福島 21 ロータリークラブの運営にあたり、現状を把握し、更に推し進めることと改善をしなければならないことを検討して、年次計画・目標を決めていきたいと考えております。初めに、当クラブは以前よりイベント事業においては、「ダンス de ダンス大会」や「みんなで繋ごう歌祭り」などそれぞれ3年間ですが、継続的に一般市民参加型の事業を展開して参りました。今年度は、望木会長が展開している「ふくしまの明日(みらい)を育てる塾」も、学生さんや一般市民を対象とした事業を開催して、延べ300～350名の参加者が有り、大変な盛り上がりがありました。当クラブの一番の素晴らしいところは、このようなイベントに多くの会員が協力してその事業を盛り上げていることかと思えます。次年度の特別事業も望木会長の事業を継承し、地域の魅力ある多様な方々をお招きして、公開講座を実施して学生や一般市民に拝聴頂こうと考えております。このことは一般市民ばかりでなく、会員の新たな感覚を養い、今後のロータリー活動の幅が広がっていくのではないかと考えております。それぞれの委員会に於いて、この特別事業の講演を頂ける方の人選をお願いしたいと考えております。また一方、委員会活動においては福島駅西口清掃・職場訪問・インターアクトクラブへの支援や会員相互の親睦活動など従来の委員会活動がありますが、次年度国際ロータリー バリー・ラシン会長の講演の中で、「全てのロータリアンの私たちに与えられた責任は、可能な限り、効果的、効率的に奉仕し、情報の透明性と説明責任を大事にし、そして、意義があり、持続可能な方法で、出来るだけ多くの人に良い変化をもたらしながら、将来のため、しっかりした土台を築くことです。」と訴えたことから改めて、委員会活動の基本を再確認し、活発な委員会活動を進めて参りたいと考えております。

「地区活動方針と目標」、「地区からクラブへのお願い」をご覧頂き、併せてロータリークラブ細則第10条「委員会の任務」の抜粋と各委員会でどんな役割があるか参考にして頂き、委員会活動の細かな部分でも、再確認頂いて委員会活動の方針と目標を決定頂ければと思います。



【2018-19 年度国際ロータリー会長紹介】

国際ロータリーの次年度会長バリー・ラシン氏（ハワイ、イーストナッソー・ロータリークラブ所属）がロータリーの未来のビジョンについて語り、会員や地域の人びとへのインスピレーションとなって、次世代のために持続可能な活動を行うよう次期リーダーに呼びかけました。ラシン会長エレクトは、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で、次期地区ガバナーに向けて2018-19年度テーマ「インスピレーションになろう」を発表。「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していきたいのです」とメッセージを発表しました。

■スマイリングBOX■

望木昌彦会長、大内久美子幹事、宗形守敏初代会長、佐藤信博バスト会長、寺島英之直前会長、阿部正美バスト会長、藤野圭史、氏家健、樋口静克、野崎正広バスト会長、本柳春男、木村幸二バスト会長、松本和彦会長エレクト、橋内美智夫、村井弘樹

■財団BOX■

望木昌彦会長、大内久美子幹事、宗形守敏初代会長、佐藤信博バスト会長、寺島英之直前会長、阿部正美バスト会長、藤野圭史、氏家健、本柳春男、松本和彦会長エレクト、村井弘樹、丹治将弘

■米山記念奨学会■

望木昌彦会長、大内久美子幹事、宗形守敏初代会長、阿部正美バスト会長、藤野圭史、氏家健、本柳春男、松本和彦会長エレクト、今泉隆、橋内美智夫、村井弘樹